

## 食農産業クラスター推進協議会設立趣旨書

豊橋市を中心とする豊川流域の農業は、全国有数の産出額を誇り、野菜をはじめ米、畜産、果樹、花きなど多様な農産物が生産されており、工業、商業とともに豊橋市の基幹産業の一つとして位置付けられています。

しかしながら、わが国の農業が抱える共通的な課題である後継者不足、遊休農地の増大、輸入農産物の増加による農畜産物の価格の下落等については、この地域も例外ではなく、農業の取り巻く状況は、これまでになく厳しいものがあります。

このような中、国は、農業、食品産業、その他異業種の連携による新商品開発等が地域農業の発展に寄与していることに着目し、平成17年度に策定された「食料・農業・基本計画」に、食料産業クラスターの形成（農業、食品産業、異業種の連携）の必要性を位置付けました。

この地域は、食料産業クラスターの形成のための基礎的な条件（農業、食品産業等の異業種の集積地であること、クラスター形成につながる活動がさかんであること等）が整っており、食料産業クラスターの形成を推進することは、農業をはじめとする産業の発展に有効な手段であると考えられます。

そこで、豊橋市では、農業、食品産業関係者等の意見を聴取のうえ、「食農産業クラスター」を産業振興プランの農工商連携プログラムに位置付け、地域の特性を活かしたクラスターによる新商品開発、新技術開発等の新事業の創造を目指し、官民一体となり取り組んでいるところでございます。

この「食農産業クラスター」を推進するため、農業団体、食品加工企業、農業関連企業、支援・研究機関、大学等が一堂に会する「食農産業クラスター推進協議会」を設立し、その新しい枠組みの中で、「食」と「農」をキーワードにした新しい価値を創造し、農業・工業・商業の相互連携により地域産業全体の発展につなげて参りたいと思っておりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成19年3月28日

食農産業クラスター推進協議会

発起人代表

後藤 圭司（株式会社サイエンス・クリエイト 代表取締役）

白井 良始（豊橋農業協同組合 代表理事組合長）

松井 英治郎（豊橋商工会議所 副会頭）

成田 静夫（豊橋市 産業部長）